



1 太宰府の木うそ

木うそは、鶯という鳥をモデルとした工芸品です。毎年1月7日に太宰府天満宮でおこなわれる「鶯替え神事」で使われます。太宰府木うそ保存会が、木うそづくりを伝えたり、木うその材料の木を育てる活動をしています。

QRコードから詳しい説明も見られるよ!



2 八朔の千燈明

毎年9月1日に五条区の人たちで行われている行事です。江戸時代にはやり病がおきたときに、太宰府天満宮にお参りしてご利益があったことを感謝して、ロウソクに火を灯して天満宮の楼門前に並べておそなえする献灯をします。



3 かつてあった道「四王寺山の太宰府町道」

車が通れる林道ができる前、四王寺山の上にある四王寺集落とふもとの宰府のまちを行き来していた道が今も残っています。この太宰府町道を、かつては四王寺集落の子どもたちが太宰府小学校へ通ったり、牛が荷物を引いて運んだりしていました。



4 芸術家 富永朝堂

富永朝堂は、日本を代表する木彫家で、昭和62年(1987)に90才で亡くなるまでの43年間を太宰府で過ごしました。市内にいくつも作品を残しているほか、観世音寺の復興や筑紫美術協会の設立など、地域の文化芸術に貢献しました。

